

# 普及課だより

東三河農林水産事務所農業改良普及課  
(東三河農業普及指導センター)

## No. 53

2020.10

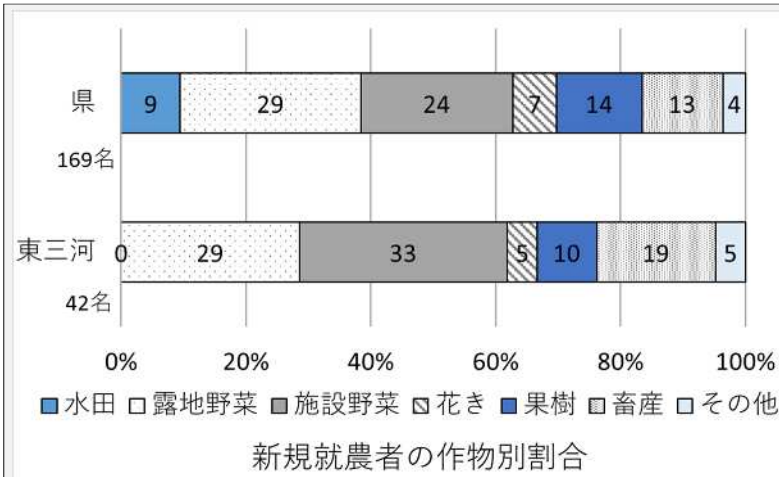
〒440-0833 豊橋市飯村町高山 11-40

TEL : (0532)63-3529 FAX : (0532)63-7023

Web : <http://www.pref.aichi.jp/>

[nourin-higashimikawa/higashimikawa-fukyu/](http://www.nourin-higashimikawa/higashimikawa-fukyu/)

### 令和2年度の新規就農者数



管内3市(豊橋市、豊川市、蒲郡市)の新規就農者は42名で県全体の4分の1を占めています。作目別で見ると、露地野菜と施設野菜が多く、合わせて62%を占めています。県全体と比較すると施設野菜、畜産の割合が大きくなっています。

就農の経緯は、新規学卒が26%(県全体15%)、Uターン就農が45%(同39%)、新規参入が29%(同46%)です。県全体と比較して新規学卒の割合が大きいという特徴があります。

### 《セミナーのお知らせ》

#### ～ 新農業経営者セミナー ～

普及課では、毎年、新規就農者を対象に農業経営に関する技術や基礎知識をわかりやすく学ぶセミナーを開催しています。今年度は全5回計画しており、これまでに「部門別・農業制度研修」、「土壌肥料研修」、「病虫害防除研修」を実施しました。

残り2回は下記のとおり開催しますので、お気軽に参加してください。

- 「農業機械研修」 10月29日(木) 13:30～15:30  
講師：(株)東海近畿クボタ
- 「経営管理研修」 11月17日(火) 13:30～15:40  
講師：(有)みずほ農産 福井直子氏  
※フレッシュミズセミナーと共催

◇場所：共に東三河農業改良普及課  
(豊橋市飯村町高山 11-40)

※お問い合わせは担当(西山優也)まで



昨年の「農業機械研修」の様子

#### ～ フレッシュミズセミナー ～

普及課では、毎年、農業に携わる若手女性を対象に楽しく農業の基礎を学ぶセミナーを開催しています。お気軽に参加してください。

- 「今日からできる作業場改善・女性の経営参画」  
11月17日(火) 13:30～15:40  
※新農業経営者セミナーと共催  
講師：(有)みずほ農産 福井直子氏  
(農村生活アドバイザー)
- 「スマホで魅せる！農産物撮影」  
12月1日(火) 10:00～12:00  
講師：MIYA STUDIO 新田貴代子氏

◇場所：共に東三河農業改良普及課  
(豊橋市飯村町高山 11-40)

※お問い合わせは担当(西山彰宏)まで



応援企業による講話(昨年度)

## スマート農業実証プロジェクトが始動！

スマート農業とは、ICTやAI等の先端技術を活用して省力化・高品質化を図る新しい農業です。今年度から国内スプレーマム栽培発祥の地、豊川市でスマート農業実証プロジェクトが始まりました。意欲ある若手スプレーマム農家4戸とJAひまわり他、産学官が連携して取り組んでいます。本プロジェクトは国の事業で、県内の花きでは初の取組となります。

現在、取り組んでいるスマート農業技術は、環境制御システム、雇用管理システム及び作付計画システムの3つです。ここでは環境制御システムの取組内容について紹介します。

### 【ステップ1】

スプレーマム栽培に関する各種データを収集します。

- ①光合成チャンバー：光合成速度など
- ②定点カメラ（AI/IoT搭載）：草丈、葉面積
- ③統合環境制御装置：気温、CO<sub>2</sub>濃度、灌水量など

### 【ステップ2】

収集したデータを分析することで、スプレーマム栽培に最適な環境管理モデルを作成します。

### 【ステップ3】

環境管理モデルを統合環境制御装置にプログラムすることで、ほ場を最適環境に自動制御します。



左：光合成チャンバー、右上：定点カメラ  
右下：統合環境制御装置

現在は主に【ステップ1】を進めている段階です。これまで農家の経験と勘に基づいて行われてきた環境管理の見える化と最適化を進めることで、産地全体の生産力向上に繋げていきます。

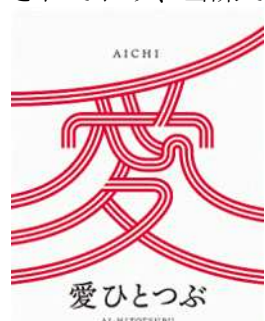
実証する3つのスマート農業技術によりスプレーマム栽培の効率化を図り、収量10%増大とキク1本あたりの労働時間5%削減を目指します。

## 県育成品種の普及に向けた取組状況

### なつきらり

「なつきらり」は高温障害に強い水稻品種です。近年の異常高温により、同熟期の「コシヒカリ」は米粒が白く濁り、品質低下することが大きな問題となっていますが、「なつきらり」はきれいでおいしい米を収穫できます。その中でも厳しい品質基準を満たしたものは「愛ひとつぶ」のブランド名でこの秋から販売が開始されました。

当管内では8戸約10haで生産されており、当課では品質基準を



満たせるよう、地力に合わせた施肥量や、収穫時期の徹底等の栽培指導を行っています。

愛ひとつぶのブランドマーク

### 愛経3号

「愛経3号」はJAあいち経済連と共同で開発し、平成30年3月に品種登録出願されたシソの新品種です。

低温期でも現行の品種で問題になる葉裏の着色や、葉の波打ちが発生しにくいのが特長です。

当管内でも採種、導入が始まり、当課では生産拡大に向けた栽培指導を行っています。



「愛経3号」(左)と現行品種(右)の波打ち比較

### 瑞月

「瑞月(ずいげつ)」は、国と共同で開発し、令和元年10月に品種登録出願された梨の新品種です。

糖度の高さとみずみずしさが特徴で、「幸水」に続く盆時期に出荷が可能です。今年秋の苗木配付に伴い、当管内でも本格的な生産が始まります。

当課では、本品種の栽培技術の確立に向けた調査を現地で行っています。



収穫前の「瑞月」